

(箴言 18:10、口語訳聖書)

* やぐら:見張りなどを するための高い 建物。



イエス様、 どうやって イエス様の 堅固な やぐらに 走りこんだら いいんですか?







どうして、聖書の この 約束には、ぼくが イエス様の やぐらに 走りこまなくちゃいけないって





それでも **君は、何を**するにも、どこに いても、わたしが 常に 守ってあげる わけでは ない 理由を聞きたいんだね?

聖書の 約束は、 こういうのでも いいんじゃ ないですか?





「主なないです。 「主なでをしていても、 またでというです。 またできにいても、 またでものでする。」



じゃあ、たとえば君が 1 0 階建ての ビルの 屋上の 手すりで 片足立ちを するみたいな おろかな ことを しても、

> もちろん、 そんな バカな まねは しませんよ。

それか、
アイスクリームや
ケーキや お菓子ばかりを
食べて、果物や 野菜は
めったに 食べなくても、
健康で いさせて
ほしいのかな?

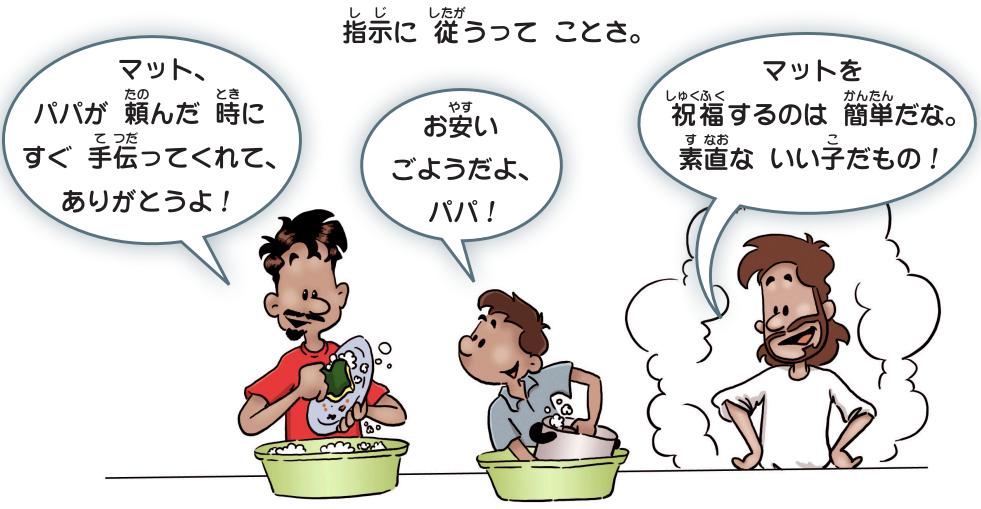
う~ん、 それは いい 考えかも。 そしたら、毎日 甘い お菓子を 食べたいだけ 食べても、元気で いられるもの。





どうして その 約束には わたしの やぐらに かけこまなくては いけないと 書かれているのか、理由が あるんだ。 それは、君が わたしの そばに いるのが 大切だからだよ。 君の パパやママや わたしが 潜に、これを しなさいとか、 あれを しちゃ いけないとか 言う時、それは、 君の ためなんだ。

わたしに 守ってもらう ためには、 デしい 場所に いるための 努力が 必要なんだよ。 わたしの 元に 来なくちゃ いけないんだ。 つまり、ママや パパや わたしの 言うことを 聞いて、できるだけの ことを しなくちゃ いけないって いうことだ。良い 人生を 送るための



言いつけを よく 等っている 時には、わたしに よく 世話して もらえるだろうという 信仰も、持ちやすいよね。



それから、食べる 前には イエス様に 食べ物を 感謝していました。



知ってるよ。 わたしも 感謝の ご葉を 聞けて、 うれしいよ! もう1つ、覚えていて ほしいこと。 わたしは、奇跡の 神だって いうことだ! だから、わたしの 近くに いれば、奇跡が 起こる 場所に いれるんだよ。

> うわぁ、 そんなふうに ^{おんが} 考えると、 わくわくするなぁ!







終わり

S&S link: Christian Life and Faith: Biblical and Christian Foundation: God's Word-1b

マリア・フォンテーンの著書からの再話:クリスティ・S・リンチ

さし絵:レイラ・シェイ。デザイン:アリアクセイ・コーラン

Copyright © 2010年、ファミリーインターナショナル